

## 医療技術の評価について

平成２４年１月２７日  
診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会  
分科会長 吉田 英機

昨年２月に開催された中医協総会において、平成２４年改定に向けて、診療報酬における医療技術の適正な評価の観点から、診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会において、学会等から提出された医療技術評価・再評価提案書（以下、「提案書」という。）に基づき、評価を行うこととされたところである。今般、医療技術の評価について、最終的な検討結果をとりまとめたことから、当分科会における評価結果を報告するものである。

### １ 医療技術の評価に係る実施方法等

- (１) 昨年２月下旬から６月にかけて、関係学会等から合計９８５（重複を含む）の提案書が厚生労働省に提出された。その後、学会等のヒアリングや重複の確認を行い、事務局において評価（案）を作成した。平成２３年１１月１６日に行われた平成２３年度第二回医療技術評価分科会において、評価（案）について検討し、①「幅広い観点から評価が必要な技術」、②「エビデンスが不十分と考えられる技術」、について、医療技術評価の対象とすることとされた。
- (２) 医療技術評価の対象となった、６６７の技術について、平成２４年１月１３日に行われた平成２３年度第三回医療技術評価分科会において、専門的観点を踏まえた分野横断的な幅広い観点から評価を行い、最終的な評価結果をとりまとめた。
- (３) また、一部の胸腔鏡下・腹腔鏡下手術については、従来からの開腹・開胸手術と同等またはそれ以上の有効性・普及性を有する成熟した技術として扱っても差し支えないとの指摘があることから、安全性に配慮しつつ、一定の基準を満たす胸腔鏡下・腹腔鏡下手術について、原則として保険適用を行うこととした。併せて、既に保険適用されている腔鏡下等手術で、特に施設基準を設けていないものも含めた腹腔鏡等手術全般について、基本的な施設基準を設けることとした。

## 2 医療技術の評価結果の概要

(1) 平成23年度第二回医療技術評価分科会（平成23年11月16日）  
における検討結果（概要）

項目	件数
医療技術評価・再評価提案件数	<u>793件</u> (重複分をカウントすると985件)
① 幅広い観点から評価が必要な技術	<u>564件</u> (新規技術 263件 既存技術 301件)
② エビデンスが不十分と考えられる技術 ・評価すべき有用性が十分に示されていないもの ・評価すべき技術の具体的な内容が十分に記載されていないもの 等	<u>103件</u>
③ 医療技術評価分科会における評価の対象とならない技術（評価対象外）	<u>126件</u>
③—（1）基本診療料及び指導管理等に係る提案書、個別の技術評価ではなく制度に対する提案書等（注1）	97件
③—（2）使用する医薬品及び医療機器等の薬事法上の承認が確認できない技術（注2）	13件
③—（3）先進医療専門家会議において保険導入等について議論する技術（注3）	16件

注1：基本診療料、指導管理料等については、医療技術評価分科会の評価の対象外。

注2：薬事法上の承認が得られていないものは、保険診療において使用することができない。保険と併用する方法として高度医療（第3項先進医療）がある。

注3：先進医療については、先進医療専門家会議において、実績報告等に基づき、別途保険導入について評価が行われるため、医療技術評価分科会の評価の対象外。

(2) 平成23年度第三回医療技術評価分科会（平成24年1月13日）における最終的な評価のとりまとめ結果（概要）

項目	件数
A. 医療技術評価・再評価提案件数	<u>793件</u> (重複分をカウントすると985件)
① 新規保険収載等の評価を行う優先度が高いと考えられる技術(※)	<u>278件</u> (うち、新規技術128件、既存技術150件)
② 医療技術評価分科会としては、今回改定では対応を行わない技術	<u>339件</u> (うち、新規技術131件、既存技術208件)
③ 医療技術評価分科会における評価の対象とならない技術(評価対象外)	<u>176件</u>
③—(1) 基本診療料及び指導管理等に係る提案書、個別の技術評価ではなく制度に対する提案書等	<u>106件</u>
③—(2) 使用する医薬品及び医療機器等の薬事法上の承認が確認できない技術	<u>51件</u>
③—(3) 先進医療専門家会議において保険導入等について議論する技術	<u>19件</u>
B. 新しい胸腔鏡下・腹腔鏡下手術で、保険導入検討に当たったの取り扱いについて議論の対象とした手術	<u>44件</u>
① 一定の基準を満たし、原則として保険適用を行うこととされた胸腔鏡下・腹腔鏡下手術	<u>37件</u> (うち、医療技術評価提案書の提出があり、A. ①に含まれるもの11件)
② 医療技術評価分科会としては保険適用を行わないこととされた胸腔鏡下・腹腔鏡下手術	<u>7件</u>
②—(1) 外保連試案第8版における技術度区分がE群の手術	<u>1件</u>
②—(2) 先進医療として行われている手術、及び先進医療として行われている手術に関連すると考えられる手術	<u>6件</u>

※ 評価の中には、新規保険収載、既収載技術の増点、減点、廃止、要件の見直し、適応疾患の拡大等が含まれる。